THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻 第三十號
大正四年十一月四日
第三種郵便物認可
大正　年七月二十七日發行（毎週金曜日發行）

婦人週報

目次

□母をして醫師たらしめよ……小橋三四子
□時事週評……
□家事手傳の教育的價値……守屋教育課長
□面白かつた夏「森作湖仙女史」……記者
□ランキン女史の處女演說……記者
□いろいろの社會「東京驛に座するの記」……民子
□幼い音樂家……K子
□暇……
□衆愚の解釋……新雲
□物品の手入……河以愛子
□子供の避暑服……ガンドレッ恒子
□夏の客膳に……水町たづ子
□減食から來る胃腸病……森井かう子
□短歌……安中花子
□おハナシ「自然兒」……琴子
□小說「默爭」……高田てい子
□新刊紹介……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘　郵稅五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母をして醫師たらしめよ

□學校を厭ふた子女

これは最近の事實談ですが、某家の令嬢令息が、學校を厭ひ常に沈欝の狀態にありました。然るに醫師の診斷の結果、腦神經が痲痺れて居るといふので、あらゆる方法で其の神經を刺戟して、回復狀態に向ふと同時に自ら進んで學校に行くと云ひ出されたさうであります。大人は意志の力を以て、往々病弱な身體を支配して行く事もありますが、子供は直接に身體の强弱が精神に影響するのであります病的と見えない迄も、よく注意して身體を調らべて見ますと、眼に異狀があつたり、鼻に故障があつたり、神經系統が健全でなかつたりして、其の爲めに發育上や學藝を學ぶ上に、一方ならぬ損失をして居るなどは、珍らしからぬ事であります。

□醫師は健康の顧問

現今の家庭では、醫師は病氣の外には診察を乞はぬものとして居りますが、ほんたうならば醫師は健康の顧問とすべきものであります。病氣に罹らぬ先に豫防の方法を學び、また完全に身體を保つ上に、常に其の注意を受くべきものであります。而して此の醫師の役目は常住兒童と共に在る母が最もよく行ふことが出來るのは、申す迄もありませぬ。世の母をして皆醫師たらしめたならば、國民の健康はどんなに增進することでありませう。

□學課としての生理衛生

高等女學校には、一般に生理衛生の課目があります。肉體を持つ何人にも、最も間近い問題でありながら、どういふ譯か、學校で習ふこの課目はいかにも面倒な無味乾燥なものに思はれて居ります。これは確かに敎授の方法が生きて居らぬからで、もし人々の健康に基礎を置いて生きた敎へ方をすれば、必ず大多數の人に最も興味ある課目であり、從つて生理、衛生を學ぶ一年乃至二年間には、可成りの醫師になれる筈であると思はれます。

□もう少し力を入れて

今日は生理や衛生、醫療に關する書物は自由に得られる時節です。たとへ學校で學ばぬ人でも、心掛けによつては、書物によつても學んで行かれます。もし都會等に居る人ならば、時々催される講習會によつても學ばれる筈であります。それ故先づ一家の健康を掌る主婦は、醫師にのみ依賴せずに、自ら相當の知識を持つべきであるといふ事を、覺るのが、最も必要で其の知識を求むる心が切なれば、機會は決して乏しからぬのであります。今日は家政學等も普及して、只見様見眞似を以て相繼いで來た家庭内の事も、次第に科學的に研究さるゝに至り、「如何にせば最も家庭生活を幸福ならしむべきか」といふ問題に苦心するやうになり、料理、裁縫迄立派な學課として講究さるゝやうになりました。然し一家の健康は、家庭を幸福ならしむる第一位の要素であるといふ意味から生理、衛生の課目は、もう少し力を入れて敎へ、また學ぶ必

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

要があると思はれます。

□不攝生と無智

宗教の或る一派の人々は、病氣は罪であるとして、非常に恥辱に思ひ、秘して置く社會があります。人の微妙な機關は時に狂ひを生じて病氣する事もあらねばなりますまい、さういふ宗教家がするやうに、極端な處置をとらないでもよいでせうが、實際今日の病氣と稱する內には不注意の爲め、無智の爲めに、避け得べかりしものに捉はれて大切な身體を害ひ、苦しめて居るのを見ると、罪な事であると思はれます。學生が試驗だと云つて、徹夜を續け神經衰弱になつたと云つても、實に當然な結果が巡つて來たのであります。日本が少壯年婦人の死亡率が世界に冠たる由で、其の病氣は營養不良の結果、肺結核に冒されるのであるとの事は何人も知れる處であります。これは婦人が不足勝ちの經濟狀態の下にあつて、夫に子供に先づ營養をとらせて、自らは其の餘り物で滿足するといふ美はしい犧牲心も一面には手傳つて、この悲劇を生むと云ひますが、他面から見れば七八ヶ月を過ぎてもはや營養のない乳を子供に飲ませ・自らもまた無駄な營養を絞られて居るといふ營養の浪費がなほ廣く行はれて居るのを見れば、日本婦人の若死には、無智の招く罪惡が、潛んで居ると申さねばなりませぬ。

□教育の有効な狙ひ

心ある母が子女教養に苦心するに當り、其の子女の身體の狀態を知悉して、常に支障のないやうに注意して行つたらば、無病息災で自然の發育を遂げて行くのみならず、必ず其の性格や能力を改善する上に、思ひ掛けない効果を來すでございませう。醫學の發達と共に、嫉妬、怨恨、忿怒等のさま〴〵の性癖が、身體の病的狀態から生じて居る場合を頻々として見出して居ります。これに反して完全に身體の發達して居る者が、圓滿な性格を備ふる事が出來やうとは、無理ならぬ推理であります。而して從來無形の事業と解釋されて居た兒童の教育が、根源を肉體的に見出す事は、狙ひを更らに有効ならしむる所以でありませう。（三四子）

時事週評

□婦人と帝大の公開講座

八月一日から一週間公開さるゝ東京帝國大學文科の講演には、六百十餘名の申込みあり、內婦人は五十六名の多きに達して居るとの事です。內には女流作家中條百合子やエレンケイの研究者山田わか子等も居れば、既に家庭を持たれた奧樣方も見えるやうです。婦人聽講希望者の最も多いのは、桑木博士の「現代哲學」井上博士の「東洋倫理學史」坪井博士の「十九世紀の世界の大勢」等である由です。かういふ高尚な講演に一割に近い婦人聽講者があるといふ事は時代の進運として眞に喜ぶべき事であります。

□貧兒の避暑

東京府では府の慈善協會の事業として、脆弱な貧幼兒を夏期の間市から離して轉地させんとの計畫をたて、第一回として約五十名を八月上旬から廿日の間に湘南か房總かに轉地させる由です。貧民の心理はまた格別で、親子の間も姑息の愛が非常に強く或は子供計りを數日間でも離して置く事は感謝よりも不平であるかも知れませぬ。然し貧家に生れたが爲めに、無代な光線や空氣さへも充分に享くる事の出來ない子供等が、數日でも清潔な健康地に遊ぶ事が出來るのは、彼れ等の心身上に好果を齎らす事は云ふ迄もありません。費用は子供等の養育は親の責任であるといふ事を自覺させる爲めに、幾分かを兩親に負擔させるかも知れぬとの事ですが、大部分は府の補助と、一般の寄附に俟つ由です。この有益な企てを奮つて社會は助けられたいものです。

□ランキン女史と食糧問題

本號に掲載したランキン女史の食糧問題に關する意見は、我が國婦人にも益々迫つて居る問題であります。何事も一致協力して事に當り得る慣習のある米國婦人社會は、かういふ折の運動も起し易いでせうが、日本に於てはいざ行はうといふ場合には、二倍三倍の骨を折らなければなりません。學校や婦人の團體によつて、一般婦人が先づ早く國家的觀念を持つやうに養はれたいものです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家事手傳の教育的價値

勞作教育を家庭に移し度い

東京市教育課長　守屋恒三郎

口學校過信

新聞で御承知の事と思ふが、頃日都下の小學生が賭博したといふ事があると、社會は其の責任を學校教育に歸して居る。また兩三日前一少女が歸校の途、自動車に轢かれたといふと「學校が途上の注意を疎かにした罪だ」と云つて、既に私の處にも警告を促したがよいといふ意味の投書が二三通來て居る。昨年一昨年邊り、海岸に教師が個人的に伴つた兒童が溺れたといふて、これをも亦學校の責めとして、かゝる不時の災難をも悉く學校の責めに歸さうとする社會は、學校が兒童教育の全責任者たりと感じて居る事が解る。未だ學校の無かつた時代は、家庭が全責任を負ふて居り、教育は家庭が不完全であつた時代は、社會が全責任を負ふて居つた。我が現在は果して兒童教育の全責任を學校に歸すべきか、また家庭に歸すべきか、學校、家庭が各々分擔すべきか、この三問題に亘つて考へて見たいと思ふ。

口ケイ女史の教育說

瑞典の女流思想家にして教育者なるエレン、ケイ女史は、「廿世紀は兒童の世界」といふ著書に、學校の教育は寧ろ有害無益であつて、兒童は家庭が全責任を負ふて教育すべきであるが、現代の家庭は其處迄發達して居らぬから、その補充として學校教育を施さねばならぬと云つて居る。我が國現在の小學校では十二三の課目を六ヶ年で仕上げて居るが、讀み書き算數の如き單に知識を注入する學課と、圖畫、裁縫、綴り方、手工の如き手足を訓練する學課とある。而して何れの學課が重んぜらるゝかといふと、智的教育であつて兒童が學校でボール箱や竹細工をして、それが何の教育的價値があらうかとは、手工の教師以外一般に問ふ處であらう。父兄も亦兒童が讀書算が出來なければ、頭腦が惡いのではないかと案ずるが、手工が丙であつても「家の子供は無器用で」位に濟して居るのである。

口デユエーの明日の學校

我が小學教育が開らけて殆ど五十年にもなるが、なほ學校は讀書算を教ゆべき處と、人々の頭を支配して居るのを見れば、私は實際學校に於ては讀書算の智的教育を與ふる丈けで滿足すべきではないかと、かう大膽に考へるのである。今日歐米先進國を見れば、學校萬能主義に傾き、我が教育者等もこれに動じて、理論上には、學校萬能主義を稱へるが、實際はさういふ說を抱く教育家も亦智的教育を重んずる傾向がある。亞米利加の如きは、學校を公開し、講演會を開き、圖書館を設け、或る町の如きは舞踏する場所として學校を提供して居る。これ等は學校が子供を教ゆる以上の事をして、學校が社會の中心とならなければならぬといふ理想である。米國インディアナ州のゲエリーといふ市に出來た學校は、生徒は家庭に歸らすのはよくないといふので、終日學校に置き

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學校を敎化の中心として居る。嘗てシカゴ大學の敎授として、附屬小學を理想的に經營し、後コロンビヤ大學に敎授となつたジョン、デユエーの「明日の學校」といふ著には、「敎育は生活の準備ではなく、生活そのものを敎ゆるのである」と云つて、勤勞、勞作の敎育的價値を唱道して居るが、これは明日の學校でなく、既に現在の學校の狀態となつて居る。獨逸でもミュンヘンのテルセンスタイン氏が市の敎育課長となり、その町の學校を理想通りに指導して居るが、これ亦勤勞、勞作に重きを置き社會の縮圖を作る事、デユエーと同樣である。このテルセンスタイン氏はデユエーの說に暗示を受けて始めたものであるといふが、我が敎育界に於てもデユエーの名を知らなくてもテルセンスタインの名を知らなければ時代遲れの樣に思はれて居る。

口ゲエリー式の試み

これ等の說は私が前に申したやうに學校の職務を限定しやうとする說とは相容れないのである。然しデユエーの理想や、ゲエリー式に學校を、工場、商店にしやうとするには、少くとも金と人間と場所とを要する。然るに我が師範學校ではこの敎育法を與へて居らぬから、此處を出た新らしい敎師が、自ら其の域に進むに非らざれば生徒をも導くことが出來ないのである。また我が財力を省るに、到底學校を社會の縮圖たらしむる設備を爲し得ないのである。普通の小學校で、單に生徒を腰掛けさせる丈けのものを建てるのに物價騰貴前十一萬圓位を要したから、四五割方騰貴した今日は十四五萬圓を要するであらう。もしデユエーの理想やゲエリー式の如くに設備したら、尠くとも倍額を要する事にならう。それ故我が國の現狀を酌み、常識的合理的に考へれば、學校は讀書算を中心として、その他のものを從とし、敎授法を改良すれば、先づ學校敎育は理想に近く行はれるであらうと思はれる。

口家庭で行ふべきもの

更らに勤勞、勞作の敎育によつて、習慣と實力を養ふことは家庭で行つて貰ひ度いと思ふ。私はエレン、ケイの如く現在の家庭を見くびる者でなく、この勤勞、勞作の敎育は、必ず家庭で行つて、學校で行ふよりもより多くの効果を擧げ得ると信ずるのである。獨逸の皇室では皇太子は靴屋、皇女は仕立屋といふやうに、皇族が何れも一つの職業を持つて居らるゝといふことであるが、もし私の說に利益ある說明を與へれば、これ等は勤勞、勞作の敎育を奬勵せられ、成人の後、人民の凡ての職業に同情と理解とを持たするやうに敎育せらるゝのではなからうか。我が國にあつても、將來勞働に服さなければならぬ運命にあるものは勿論、一般家庭にあつても、從來の家事の手傳ひを、更らに敎育的に行つたならば、効果が多からうと思はれる。

口家の勞作は愛他的

米國に於ては、コンドル氏によりて始められた「家庭學校」といふものがあつて、全く家庭に代つて敎育を授けて居るが、かやうに現在の家庭が不滿足だからと云つて、他の團體に依賴せずに、家庭に於てさせる事が適當であると思ふ。或人の調査によると、子供は學校に入る頃でも、なほ相當の家事の手傳ひが出來る。例へば七歲の子供は牛を逐ふ事、馬に乘る事、馬に車を曳かせる事、鷄を飼ふ事、ボートを漕ぐ事、小川で釣する事、庭掃除、犬を馴らす事等、二十以上の數を擧げて居る。兒童は學校の讀書算の點數がよいから、必ずしも怜悧と云へず、またこれ等が出來ないから、將來役立たぬとは定まらぬので、或る子供は手工に長け、却つて成長の後社會の有用な材となる事もある。禪宗では

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

修行に際し、考案の外に作務と稱し、炊事、酒掃、野菜作り、裁縫等種々家事の手傳ひをさせる、この作務は却つて將來見込みあり、修行の積んだ人でなければやらせぬが、これは大に神を養ひ、功徳になると云はれて居る。學校で手拭掛けや、花作りをしても、單によく出來て褒められたいといふ利己的の考へより出ないが、家庭に在つては家族の役に立ち、他の滿足を得やうとする愛他的の考へによつて、勤勞、勞作の習慣を作ることが出來る。

□一層教育的なる勞作

然らば家事の手傳ひとは如何なるものか、女中のする事の手傳ひもよいが、一層教育的の事は他面から物を拵る事や、家業の手傳ひをさせること、進んでは内職をさせる事である。亞米利加では夏休みを三ヶ月もとるが、此の間は決して無駄にはならず、心ある人は此の間に少青年を勞働せしめて、金をとらせ額に汗して金を得る事の如何に神聖なるかを敎へる。確かに我が家庭が今一段敎育的の處置に出て、兒童の勤勞、勞作を導き學校の責任を輕減する事は、目下の急務であらうと思はれる。

（目黒兒童園に於ける日曜講演の大要）

面白かつた夏（一）

同門相携へての箱根行き

森作湖仙女史

▲二階の六疊の間の畫室、一方の隅には繪筆や繪の具皿をのせた机があり、反對の側には紅友禪の布團が敷かれてあつて足を繃帶した婦人が苦しさうに横つてゐる。枕元には面白く蔓のからんだ朝顏の鉢が置かれてある。婦人は、

『ほんとに失禮な恰好をして居りまして』と、さう濟まなさゝうに言つて夏の思ひ出を語る。

▲私は可成り方々へ旅行して居りますが、一昨年の夏箱根へいつた時ほど樂しかつたことはございません。同門の男女が十幾人停車場から強羅に向つて自働車を飛ばせました。屈曲の多い山道のことゝで車輪が一つ外れやうものなら底知れぬ谷に落ちねばなりません。險呑だナ、と沁々思ひましたが、萬一自働車が轉覆すれば、車内のものはみんな死ぬんだ、決して私一人死ぬやうなことはないだらう、と思ふと、辛じて諦得が出來ました。

森作湖仙女史

▲『斯うして不安に閉ぢられてゐるうち、前夜の雨で山崩れがして橋が落ちた爲めに強羅の手前で自働車から降り、歩まねばならなくなりました。路は山路、日は輝き、小石は燒けてムレ〳〵と雲氣が昇ります。であるのに私共は雨裝束で高足駄を穿いてゐる騷ぎに、汗がだら〳〵と流れます。強羅に着いたのは午前十一時、南米岳さんの露醉庵に入つてお湯を浴びた時は生き返つたやうな思ひがしました。その別莊は庭の中を谷が流れたり、瀧が落ちたりしてゐます。一夜泊りの豫定であつたので、僅かな時間に澤山の場所が見たいと思ひ、午後二時から大地獄を見に出かけました。揃ひの浴衣の上に細帶をしめ、庭下駄を穿いて險しい山路に向ひましたが、案内者なしだつたので隨分まごつきました。けれど丁度八月の中ばでしたのに卯の花が眞白く咲いたり、うつぎの花がうす紅ゐに匂つたりしてゐる所を歩んだので、愉快な心が湧き上つて少しも路のことなど氣にかゝりませんでした。深山鶯も涼しい聲で啼いてゐました。十幾人の連中の中で途中から引返した人も二三人ありましたが、私は日盛りの暑い山路をとう〳〵上り終せました。その夜、各自が扇子に自畫像を寄せ書きして大笑ひしました』と仰有つたのは閨秀畫家森作湖仙女史であつた。女史は足痛に惱んでゐらしつたのにお會ひになつた。三尺の床の間にはあつさりした水草の軸が掛つてゐた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六

ランキン女史の處女演説
食糧問題と婦人

米國モンタナ州から選出された唯一の婦人議員、ジャネット・ランキン女史は、南カロリナ州のエー、エフ、レーバー代議士によつて提出された「食糧の配布を政府が責任を負ふ事」といふ議題につき賛成演説を試みられたのは、彼の女の非戰論賛成演説と共に世人の注意を惹きました。近着の米國週報によつて其概略を紹介して見ませう。

□傳説的婦人の義務

世界の危機に際して、食糧問題といふ傳説的の婦人の義務を如何に世界的に應用して行かなければならぬかといふ時機に際して、漸く婦人の價値は認められやうとして來ました。レーバー氏の食糧問題は、實に全國の婦人の力を須つべきものであつて、更らに詳細の調査を經て、速かに具體的の實施を見ん事を望みます。我が米國には實際どれ程の穀類野菜の收穫があるか、其の産出の根源地は何處か、政府はどれ程の條件で國民の食糧に干渉する事が出來るか、市場の状態、食糧經濟等、なほ之れを細く云へば各家庭の食糧品買入の注意、政府の手で種子を配布する事、市場の相場を廣く報ずる事、食物の浪費を省く事、各種の講演によつて、食物の材料や物産を上手に使ふ方法を教育する事、穀物動物の病氣を癒す事等につき、既に獨逸、伊太利、英國、佛蘭西等にて實施せる事は、速かに行ひ、これに對して其の道に精通せる婦人に調査の責任を負はしむるやう、政府が權利を與へて頼む事も出來ます

ランキン女史

□婦人國家の新時代

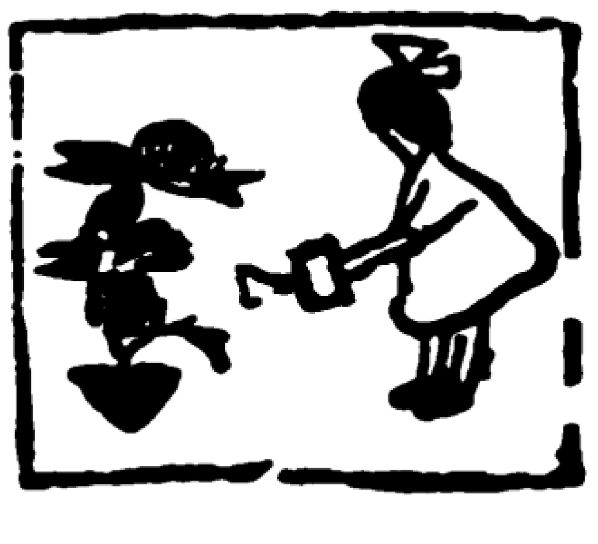
國内の婦人は之れによつて政治に興味を持ち、國家經濟を念頭に置き、久しく望んで得られなかつた生活を智識的、科學的にするやうになる事は、確かに婦人と國家にとつての新時代を作るものであります。從來主婦は既に形を成した少量の食糧を其の臺所に於て食卓に於て見るのみで、廣く國家、社會の問題として、播種、栽培、運搬、賣捌等に就て考へた事はありませんでした。そして或地方では食糧缺乏の爲め、餓ゑて居るに拘らず、他の地方では果物や野菜が樹上に畑中に多過ぎて腐敗して居るといふ不調節が起つて居りました。

□國家世界に盡すは今

これ等は畢竟食糧研究の不備から來る缺陥でありました。既に米國の現社會は高等の學府から、年々幾多の教育ある婦人を國家に送り出して居るので、これ等の婦人が單に一家内の家政に沒頭するのみならず、國家的、世界的に、其天性を發揮して盡すは、今であると私は世の婦人に多くの努力を期待するものでありますが、政府も亦其助力を豫期しても決して無駄ではないと思はれます。而して全米國の家庭にある婦人を擧げて、この問題の解決に力を藉すのみならず、政府の當局者として婦人が採用さるゝに至らば、必ず多年の經驗上より同情と理解ある方法を講じて、廣く主婦達の衷心の贊助を得、國家、世界の危機を協力して助けて行く事が出來るに違ひなからうと思はれます。云々

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



いろ／＼の社會（十五）

東京驛に坐するの記

——避暑の婦人に抱かるゝ人間よりも贅澤な狆——

▲暑さが加はるにつれて避暑に行く人が多くなつた。山へ。海へ。私はある日の朝、それらの人を見やうと思つて東京驛へ行く。まだ朝の六時であつた。朝明けの空氣は、冷々と肌にふれる。まだ眼覺め切らぬ驛には、大山詣でらしい團體の人が、揃ひの浴衣で一塊り、二塊りと彼方、此方にかたまつてゐた。一二等の待合室には、旅の人らしい人は男が三四人ゐる許りである。之れに反して三等室は、可成り澤山の人で埋つてゐる。が大きな荷物などを持つてゐる人は殆どない。一寸其處まで、と言ひさうな人で充されてゐた。

▲一汽車、二汽車、と汽車が立つて八時、八時半となる。そして九時の所を時計の針が指すやうになると、ぞろ／＼と紗の夏コートを着た女や、絽縮緬の羽織を重ねた女が一二等婦人待合室へ集つて來た。姑らしい切り下げの髮の女を眞中にとり圍んだ、四五歳の洋服の坊ちやんや十七八のお下げの令孃達があつたり、色の白い丸髷の女を中心にしてぞろ／＼と續く娘子軍の一團があつたりする。そしてそうした一團には白地の浴衣に小倉の袴を穿いた書生や、太い腕を頻りに氣に病んでひつ込ますやうにする女中が從つてゐる。書生や女中達は坊ちやんやお孃さま達がチョコ／＼と何處かへかけて行かれるのを追つかけて行つたり、小さな主人の四季袋を持つたりしてゐる。皆の顏に何となき慌しい影がさしてゐる三等待合室にはこの時刻には殆ど人影はなく、一等待合室には夫君同伴らしい婦人が三四人瞳を動かしては威嚴を損ずると言ふやうに澄まして坐つてゐた。

▲改札口の近くは一層の騒ぎである。野口家とか、森山家とか、松井家とか、佐藤家とかと大きな木札をぶら下げた手荷物をうづ高く積み重ねた横に、山桐の下駄を穿いた書生や、銀杏返へしに結つた女中達が謹ましく立つてゐたり、車夫に手荷物預り所へ運ばせたりしてゐた。赤帽は彼方此方で頭を下げて大きな荷を背負つて走つて行く、車寄せには自働車がつく、人力車がつく、馬車がつく。そしてその中からは色の白い女や、太つた男などが吐き出されるのであつた。斯うした時間に集る人は多く自分の別莊へ遊びに行く人が多いと言ふことであつた。二階の食堂も、この時刻に乘る連中によつて繁昌してゐた。九時四十分發の列車は國府津行きである。いろ／＼の人を餘りに、ジロ／＼と見てゐるのも氣まりが惡かつたので、一寸驛外の砂利の上をザク／＼と歩んでゐると大手町の方から一臺の自働車が疾走して來た。七百五十何號である。車寄せにつくと運轉手がつゝましやかにドーアを開けて中腰でひかへてゐると、中から中年の男が一人と若い女と老年の女とが一人づゝ出て來た。女は二人とも可愛らしいチンを抱いてゐる。運轉手がドーアを開けると同時に驛の入口の横から四人の女中と三太夫らしい羽織袴の男とが大急ぎで走り寄り、中腰でひかへ、女中は競つてチンを抱きとつて自働車の中から出て來た女の後に從つた。私はフト『あのチンは吾々人間よりも優つた日を送つてゐる』とさう思つて面白かつた。之れも社會の一角である。（民子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幼い音樂家

聞いたまゝの音を樂器に表はす六歲の登滿壽さん

＊＊＊

まだ漸く六つの幼ない男の子であるけれど、人の歌ふ歌を聞き覺えて歸へり、一人靜かに樂器に向つて、習つたこともない譜を自由にひくと言ふことを耳にしたので、そのお母樣をお訪ねする。高田小學校の門前の初見六藏氏の次男登滿壽さんである。すべて天才は五六歲の頃から既にその才能の芽ぐみが現はれると言ふことである。都住ゐの家には珍らしく廣やかな青い芝生の見える洋風の應接間で、靜かに登滿壽さんのお母樣はお話し下さる。壁には聖母マリアの額がかゝつてゐた。室の隅には、オルガンも一臺据ゑられてあつた。

＊＊＊

『登滿壽は十月生れの六歲でございます。五つの年の秋の頃でした。まだ幼稚園へやつてゐませんでしたので、時々一人で退屈になるとぬけ出して前の小學校へ遊びに參つてゐました。

六歲の登滿壽さん

すると或る日のこと、歸へると、イキナリ應接間にかけ込み、頻りにオルガンを弄んで居りましたが、暫くすると君が代をひくやうになり、鳩ぽつぽや、もしもし龜よ龜さんよ、が出來るやうになり、夫れからは何でも歌さへ覺えれば直ぐそれをオルガンに合はせるやうになりましたそして歌も人が歌つてゐるのを聞くと直ぐ覺えて了ひます。どうかすると荷馬車をひく馬子が歌つて行く俗謠なども巧みにオルガンに合はせます。若い衆が歌ふ流行唄も、ジッと耳をすまして聞いて居りますが、暫くすると合はせるやうになります。

何時でしたか、妙な節のものをひいてゐると思つて聞いてゐると、女中が『まあ坊ちやんが、』と申しますので、『何うしたの。』と私が訊ねますと『何處であんな歌をお覺え遊ばしましたでせう。』と申します。で私が『あれは何んの歌だえ、』と訊ねましたら、笑ひながら、『箱根山、昔しや脊で越す、籠で越す。今は汽車で越す…………………汽車の烟でマックロケノケ』と言ふのだと申します。成るほどよく聞いてゐると終りの所で、眞黑けのけ、と言ふのが判然と分るので、ほんとに妙な子だと思ひました。宅の家作にゐらつしやる方で音樂の秀でた方が手つきなどを御覽になり指が大變上手に動くと言つてお褒めになり、もう少しゝたら相當の方に附けて學ばした方が宜いなど、仰有つてゐました。殊に人樣がお驚きなさるのはマーチをひくことでございます。或

九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る方などは、唱歌は兎も角、マーチなどはどうしてあゝ自由にひけるのだらう、と訝しがつてゐらつしやいます。』と。

＊＊

かうして俗謡に、唱歌に、マーチに、譜本なしに自由にひく登満壽さんは、清らかな瞳の輝いた、羞かみ屋の愛らしい坊ちやんである。

『人様が上手だと言つてお賞め下さると、有頂天になつて何時までも限りなくひきますので、八ケ釜しく思召すだらうと思つて後にはお氣の毒になります。』など丶お母様が仰有つてゐる所へ芝生の方から走つて室へ這入つてくる子があつた。荒い紺飛白の單衣の上へ兵子帶を締めてゐる。私の姿をチラリと見ると顔を赤らめて入口に立ち止り、『ねえ、お母様。』とさも恥しさうに呼ぶ。すると夫人が『あの子がお話しの登満壽でございます。』と私に仰有つて言葉をつゞけられ、『登満壽ちやん、お客様がね、あなたのオルガンが聞きたいと言つてお待ちになつてゐましたよ。此處へ這入つてひいて頂戴。』

登満壽さんは暫くもぢ〳〵としてゐられたが、

『お母様、何が宜いの。鳩ぽつぽ？ 金太郎？ それとも何か他のもの。』と言はれる。夫人は微笑なすつて、

『何でも登満壽さんの好きなもので宜いとお客様が仰有つてゐるから、おひき。』と仰有つた。

すると室の隅の方から壁により添ひながら人なつこい眼をチラッと此方に向けては外してオルガンの所へ行き、自分の丈よりも高いオルガンに向つてやつと踏みながら立つたまゝ引き初められる。小供らしい歌のつゞきに込み入つた曲が混つたり、俗謠が續いたりする。三拍子のマーチも二種類ひかれた。黒鍵も自由につかはれる。夫人は

『このオルガンは少し破れた所がございます。するとこの子がこの鍵は破はれてゐて使へないなど丶よく知つて居ります。』と仰有る。音譜も何も見ないで登満壽さんは獨り酔つたやうにひいてゐられた。

＊＊

夫人はまたその胎内の頃のことをお話し下さる。

『私は舊教の信者でございますので妊娠中も出來るだけ教會へ參つて居りました。そしてあの子が胎内に居る間に特に斯うと言ふ特種のこともございませんでしたが、どうぞキリスト教の爲めに何かの御用に立つ子供を授け給へ、と祈つて居りました私は別に音樂などは出來ませんが、教會で毎日曜にラテン語の讃美歌を聞いてはよくうつとりとしてゐた位ゐなものでございます。まだ今後どんな子に變ずるか分りませんが、教への爲めに殉する人になりましたら、之れに越した私の歡びはございません。』など丶仰有るのであつた。斯うした話の間に登満壽さんは幼稚園の手工品などをテーブルの上に持ち出して、子供らしく私にお見せ下すつてゐた。あのオルガンをひいた人がこのお子とは信じられないほど可愛らしい、まだ小さな子供である。

私は手工品を一つ〳〵見てから、この若い音樂家の未來を祝福しながらお別れした。登満壽さんは私の姿が玄關の外の夕暗の中に消えるまで、ジッと名殘り惜しさうに見送つてゐられた

噂

▲十九日に長逝された大和の山林王土倉庄三郎氏は女子教育の先覺者であり、我が女子大學の最初の賛助者の一人である事は人も知る所であります。▲さればこそ現今内田子爵夫人となられたまさ子の方は、早く米國に留學しブリモア女子大學を卒業されました。▲同氏にはまた大糸、小糸といふ同年月に生れた令孃がありましたが、等しく同志社で教育し、二人共有爲なドクトルを撰んで婿君とし、同年同月同日同時刻に東の入口と西の入口とから一つのホールの内で、二組みの厳粛な結婚式を擧げられたので、列み居る人々は何れも感涙を禁じ得なかつたとの事です。

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衆愚の解釋

婦人は附和雷同が多い

斬雲

口集ると馬鹿になる

人間は一人々々に見ると皆な夫れ〴〵の取柄もあり、裏長屋の住人も可なりな人間に思はれます。併し多人數集まると、何れも好い加減な馬鹿者になつて了ひます。其證據には日比谷の議會が絶好の例です。今年程議場が騷しかつた事は前例がないと言ひます。熊さん、八さんの惡口よりも下品な野次口を亂發した醜態は、實際唾棄すべき者であつたと言ひます。冷靜な局外者から見ると、發狂沙汰とも見えませう。「あれが一國の選良か？」と誰れしも其の馬鹿騷ぎに呆れないものはないでせう。併し、彼の議員は確かに一國の選良なのです。其初め總選擧の際、各選擧區で彼等が候補者として現はれ、自ら推薦演説をし、或は新聞紙上で政見を發表した際には、其土地で第一流の人物と見えたに相違ない事は當時の新聞を一讀すれば分ります。

口常に本心を失ふな

そこで人間は何故に大勢集まると、あんなにも馬鹿になるかと言ふ問題が起ります。是は人に醉ふのです。虚弱な婦人などは人込みに入ると、眩暈すると言ひますが、之は單に生理的作用です。處が生理的に異狀を來たさずして、精神的に其本心を失ふ人が多いのです。獨りで緩つくり考へる時には、思慮も分別もあるが、大勢でわア〳〵言ふと、何もかも忘れて一動物となり、一犬虚を吠へて萬犬實を傳ふる如く、大野次聲を出して咆哮して見るのです。そして自分は「瘖啞叱咤すれば三軍爲めに廢す」と謂はれた楚の項羽氣取りに、己れが一人で此の議會を背負つて立つて居ると言つた大豪傑に痛快がるのです。小兒の樣に單純な人間になつて了ふのです。而して極端な言辭を連發します。「國賊」「馬鹿」などゝ遠慮なく發言するのです。こんな人間は精神修養の足らぬ人間です。どんな處へ出ても自分の本心を失はぬ心掛けが必要です。

口「皆が然うしたから」

殊にも此の群衆心理の催眠術に掛る脆弱性は婦人には餘計あります。附和雷同、一に他に模倣するのです。自分の責任を確實に自覺する時、人は決して突拍子な彌次馬にはなれぬものなのです。不謹愼な言動も出來なくなります。此の事は特に婦人の虚榮心の發動に關係があります。他人が氣前能く物を買ふのを見ては、自制心を失つて、分不相應な高價な物を買つて見たり、消費してはならぬ錢を無駄に使用したり、而して遂に萬引きなどゝいふ行爲に陷るのです。又大勢の仲間に引止められると、婦人は他に約束の時間あるを氣付きつゝも、遂ひ腰を据ゑて了つたりするものです。つまり婦人は獨立心が少ないから、他の勢力に制せられ易いのです「何故、其樣な事をした？」と問はるゝ場合、「だつて皆んなが然うしたから」と平氣で答へるのが、男よりは婦の方に多いのです。男は、常に人眞似せぬ樣にといふ見識上の警戒があるけれども、婦人は、常に他人と反對せぬ樣にといふ事を考へて盲從する事が多い樣です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物品の手入
夏の日光利用(一)

家事實習研究會主　河口愛子

口夏に是非すべき事

夏はお互ひに成る丈け面倒な仕事には遠ざかつて、少しでも樂な方に行きたいと思ひますが然しこの極暑の期を利用してしなければならない仕事が家庭の中には隨分ございます。先づ夏の日光利用法に就て考へて見ますと、第一衣服の手入れ、第二物品の整理、第三室內及び屋外の掃除等、是非夏でなければ出來ない事共でございませう。布團の洗濯から衣服の手入れはどうしても今が最も宜い時節ですが、これに就ての注意はもう以前にも申上げた事もあり、既に御承知の事でもありませうから、今回は一般家庭で粗略にされ勝ちである物品整理に關して二三の御注意を申し上げて見たいと存じて居ります。

口金物の手入れ

物品中特に注意の必要なのは金屬器であります。これ等のものは、衣類などゝ異つて毎年虫干する事もなく、多くは必要の場合の外は藏はれてあるものですが、これも矢張り夏のからりと晴れた日にとり出して空氣にあてる事が必要です。其の時もしも曇や錆が生じて居りましたらば其れを除かなければなりません。金銀は磨き粉で大低落ちますが、銀のすつかり曇つたどす黒くなつたものなどは容易に落ちません。これは銀磨きと云ひ俗に赤粉とも云ふ粉で磨きますと、美しく光るやうになります。(この粉は普通の店にはございませんが、京橋の金常と申す時計店へ參りますとございます。)

銅は熱湯に曹達を少し入れて弱いアルカリ性の湯を作り、この中に入れて、柔かい綿又は眞綿、其の他極く薄い柔かい絹布で洗ひます。そして湯でよく濯いで又柔かい絹布か何かで少しも水氣のないやうに拭ひ、其の後を鞣革で充分磨きます。彫刻のある物ならば、齒揚枝の先きにガーゼの如き柔き布を被ぶせて洗ひ、前と同じ順序を施します。以上は主に曇りや汚點の時の手當ですが、靑錆の生じましたものは、御飯を練つて紙に伸し、それを錆のある箇所に張つて、暫らく日光に當てゝ乾し、乾き切つた處で紙を剝がしますと、錆は御飯に着いて少しづゝ取れますから、奇麗になる迄幾度も繰り返して致します。

其の他、錫、ニッケル、眞鍮の類は砥の粉を細かく碎いて胡麻油を少し加へ、混ぜながらよく練つて綿か柔かい布に付けて磨くのです。磨き上りましたらば鞣皮で更に磨きます。凡て金物は酸類を近づけるのは大禁物ですから、汗の手などで持たないやうにしなければなりません。

口火鉢の灰

火鉢等も灰を入れたまゝ藏つて置きますと、灰の中にアルカリ性が含まれて居りますから、早く銅が腐敗致します。この灰は手數でも矢張り外の器にあけて、火鉢をからにして藏つて置きたいと存じます。又鐵瓶などを藏ひます時は一滴の水もないやうにして中〻よく乾してから藏ひます。

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季綠草をもて覆れたる天與の酪農地伊豆の大島に產せる純良、風味卓逸、心地よき黃金色の最上バタを試みられよ

定價 半斤 金五十五錢　壹斤 金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

十一

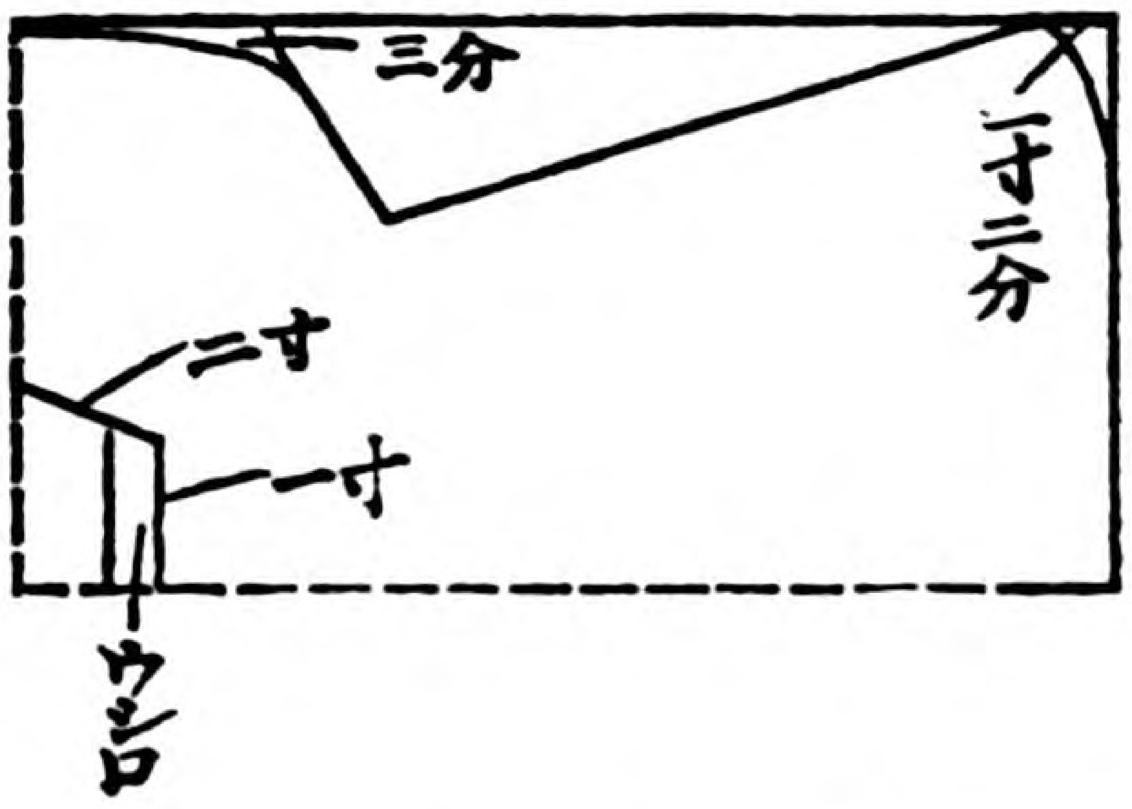
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供の避暑服

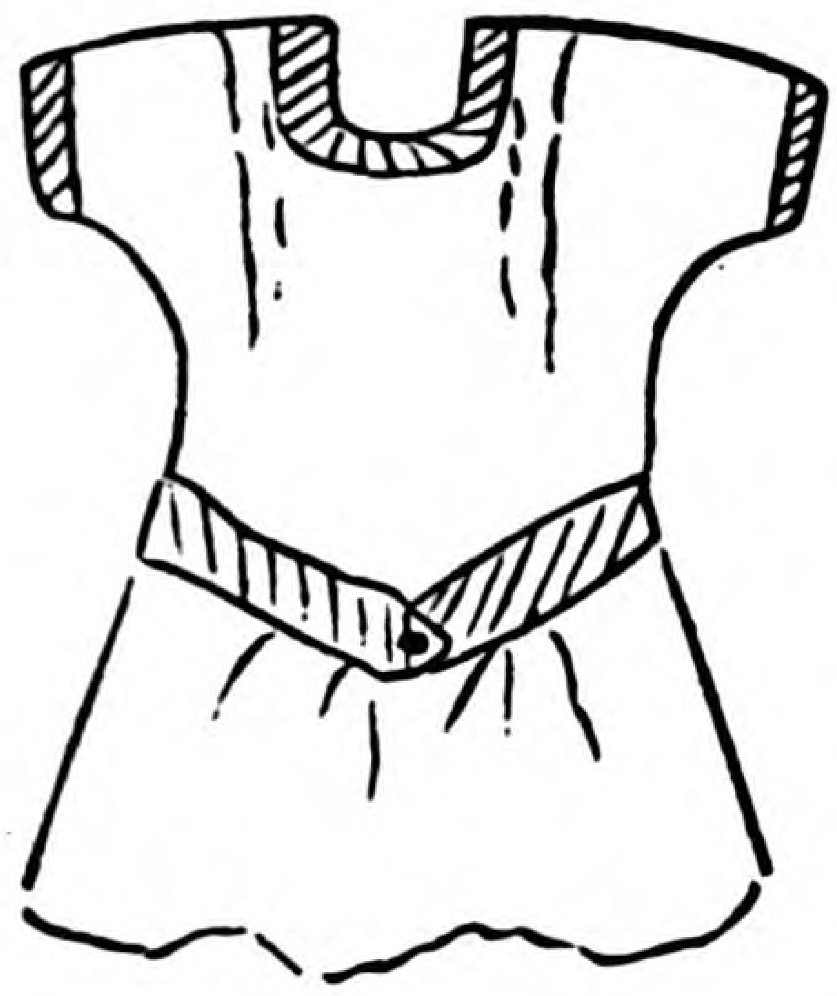
最も簡單のもの

ガンドレット恒子

▲此の着物スリーグと申しますのは嬰兒から十一二歳頃迄の兒童服の一番簡單なもので、夏の避暑服には最も適したものであると思ひます、裁ち方は凡そ見計らひで、お子供樣方の格好に合ふやうになさるのが宜しうございますが、大體の規定だけを圖に示して置きましたから御覽下さい。



▲圖には四角く切り下げた衿を出して置きましたが、お好みに依つては普通の子供服のやうに丸く刳つたものでもよろしい。どちらにしても後の襟は頸の下部に突出して居る骨よりも五分位ゐ下つた處に付くやうに裁ち前は後よりも更に一吋(八分)程多く切り下げます。ですから衿を裁ちます時には初めは少し裁つて置いて、着る子供の身體に合せ乍らお裁ちになるのが最もよろしからうと存じます。



▲次に兒童の胸幅即ち右手の付け根から左手の付け根迄が三四歳の兒童であれば約六寸あります。着物の身幅は之れよりも少し廣ければ着られますが、圖のやうに廣幅物で裁つたものは、身幅が非常に廣くなつて居りますから、適宜に胸の處に肩上げのやうに上から十吋ばかりの處迄襞を取ります。

▲ボタンは後の中央を八寸(十一吋)ばかり開けて付けます。然し其のまゝでは布が突き付けで合せられませんから、合さる丈けに、外の布を繼ぎ足して三箇ばかりのボタンを付けます。其の他の縫ひ方は袖下から脇を縫つて裾にヘムをかければよろしい。唯一つ御注意致し度いのは裾の折り込みは餘り少ないと見苦しうございますから、少なくとも一寸位ゐは折り返して置き度いと存じます。もし布がありません時には別の布をけぬき合せにして折り返しを充分に取ります。

▲最後に襟及び袖口に身頃の布と餘りかけ離れない無地もの即

化粧問答

問　だん／＼暑くなつて來ますと、外へ出た時汗や埃の爲めに、化粧くづれがして困ります。白粉も薄目につけたのは、剝げた時そんなでもありませんが、濃化粧の崩れた程、みつともないものは御座いません。夏は薄化粧に限ると存じますが、記者樣の御意見は如何でせうか。

（大阪府下　一愛讀婦人）

答　全くお說の通りです。夏は概して薄化粧の方が、見た目にも涼しそうで、至極結構です。尤も化粧崩れのしないやうにするには、初めから地肌を調へておけば宜敷いのです。それには先づ夜寢る時に、クラブ美身クリームを顏から頸筋に擦込むで、そつとタオルで拭き取つておき、翌朝すつかりとクラブ洗粉で洗落し、クラブ化粧水をすつかりと滲り込んで、生地を調へるのです。それからクラブ白粉でもクラブ美の素白粉でも、斑なく附けて延ばし、水刷毛で其上を洗ひ去り、そしてお顏色

ち配色の釣り合つた色もの丶斜目に切つたものを付けます。これは伸縮が自由ですから襟の角や袖口の斜目の處が具合よく縫へます。尚ほ少し大きくなつた兒童には成る可く下に少し廣目に帯を（矢張袖口等と同じ色の斜目の布）付けます。若丈は五六歳迄は一尺一二寸で、それから一歳増す毎に一寸づ丶延ばして參りますと大概間にあひます。これで至極輕い凉しい夏の兒童服が出來上りました。

夏の客膳に

淡白な手輕料理

水町たづ子

夏の客膳に供へる爲めに、極く淡白した手輕なお料理三品を御紹介致します。

口清汁

普通清汁を作る時に致しますやうに、湯二合に就て一寸角位ゐの出汁混布を一枚に鰹節盃に充分一杯を入れ三分間煮ましたらば出汁漉で漉します。これに小匙に輕く一杯の鹽を入れ、鹽が解けた頃を見計つて茶匙に半分の醤油を入れます。

ひどりきす

きすは三枚に下し薄鹽をして二十分置き水洗ひして、濕りをとります。そして串にさしてよく焼き、蓋ものに入れて置きます。（客に出す迄に時間がある時でしたらばお湯を少し入れて置かないと硬くなります。）

葛麺

葛麺は湯がいて充分に蒸らして置き、水にとつてよく晒し、次に二番出汁に鹽を入れて、葛麺を一寸つけて置きます。

輪胡瓜

は胡瓜の皮をさり一分位ゐの厚さの輪切にし、中にある筋をよけて揚枝の先きで種子だけをさり、二番出汁に鹽を一寸入れたもの丶中で青くなる迄に煮ます。

以上の三品を合せて椀に盛り、へぎ柚子を口に致します。

口鯨の酢のもの

壜詰の鯨を擂鉢にさり、襟をかけて暫らく置きます。之れに熱い湯を充分に掛け、菜箸で掻き交ぜ縮れましたらば水にさつて晒します。よく晒し上りましたらば笊にさつて水を切ります。次に白瓜又は胡瓜の皮を剝き、細かに打つて薄塩をして十分ばかり置き水洗ひして固く絞り、之に芽紫蘇を交ぜて色彩りに致します。又器には、數味噌を置いて前の二品を具合よく盛り合せます。

數味噌は普通の甘味噌をざつと擂つて裏漉し、之に酢一杯、味淋一杯、出汁一杯をよく交ぜて砂糖を適宜に入れ、これで味噌がさろ〳〵になる迄伸して、ざつと火にかけます。湯氣が上りましたらば下してよろしい。好みに依つては夏向きの事ですから辛子を入れるのも宜いでせう。

口はらみ茄子

茄子は大きくないのを蔕の處を切りはなし、匙で中身をすつかり取り水に暫くつけて置き、とり出した中身は豚さ牛肉の挽き肉を混ぜて鹽味をつけ、茄子の中に一杯に詰め込みます。別にフライパンに脂を延いて茄子さ詰めた肉さをなづます爲めに、切口を焼きます。そして鍋に二番出汁或は湯を二合に味淋三勺、砂糖大匙に輕く一杯をよく煮立て、これに醤油を全體の分量の三分の一加へ、茄子を入て落蓋をして充分に煮込みます。よく煮えましたらばさり出して二つに縦に切るか又は小口切にして汁を少しかけて出します。

の好くない方ならば、クラブ頬紅をうつすりと刷て、又脂肪質の方ならば、鼻の上や口の側へ、クラブはき粉白をうつすりと刷いておきますと、滅多に剝げるやうな事は有りません。假令剝げるにしても決して斑にはなりません。汗の出た時には、クラブ打粉白粉をはたくと、手早くお化粧直しが出來るのです。

問　これからだん〳〵と流行病が多くなつて參ります。豫防に關する第一の注意は何で御座いませうか、記者様の御説を伺ひたいと存じます。（兵庫縣　たつ子）

答　病菌は多く口から入るものです、夏の衞生は口を以て第一としなければなりません殺菌の効力の著しいクラブ歯磨を、朝夕二回は必ず使用せられ、其上に食後にはクラブ水歯磨でよく含嗽をして、常に口中の清潔を保たる丶ことが必要です。—廣告—

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

減食から來る

胃腸病

回復期の手當を疎かにす

女醫 藤井かう子

□回復期を減食の儘に

昨今胃腸が惡いからと診察を乞ふ者の多くは、少しお腹の工合が惡いといふので減食し、もはや回復期に向つて居るにも拘らず、何時迄もその儘に減食して居るので、衰弱して居る者の多いことを見出します。暴飮暴食はもとより謹むべきですが、また神經過敏になつて、餘り大事をとり過ぎるのも、よい事ではありません。

□消化を助ける爲に

元來人間の身體は、消化さへよくいけば、多種類の食物を食べられる丈けとるのがよいのです。殊に回復期は病中の補充をするので、消化される丈け多量に食べさせる必要があるのです。それ故食物を控へるよりも、胃腸の働らきをよくするやうにして、大膽に食べさせる方がよいのです。胃腸の働らきをよくするには、湯に入るか、罨に湯を入れるかして腹部を暖め乍ら本誌第廿五號に私がお話した方法によつて、食前及び食後一時間位の後胃腸をマッサージすればよいのです。

□常識に訴へて

然し何でも食べてよいと申すと、往々今迄うん〳〵と呻吟り乍ら床に就いて居た胃腸病者に章魚や鮨などを食べさせる人がありますが、それは餘り無智な仕方で、常識に訴へて程度を考へなければなりません。粥や液體から固形物をとるにしても、消化のよいものを撰んで次第に常食に戻すのは勿論であります

〈讀者から〉

□女教員の人格に就て

小石川 えつ子

御誌前號掲載の女の先生の印象に就ての僞らざる感想を一讀して、今更ながら感慨に堪へませぬ。私は多年小學校に訓導の職を奉じ、女教員の狀態を見てその覺醒を叫んで止まぬ一人であります。大分世間で女教員問題の聲高きこの頃に當り、一大猛省を促して、良好な反響があるやうにと期待して居ります。最近女子師範學校同窓會研究部は進んで女教員の長短所を細密に調査し、今秋開催の全國女教員大會へ發表されたと聞きました。その中にある女教員の希望は「もつと人格を社會が認められたい」とありますが、御誌の觀察にも多大の贊同を持つ私も、亦この決議にある要求も當然で、世人が女教員に對して偏見を持ち其の眞相に接觸してゐない感があります。

また教員の學力も大切ながら、教員の家庭改善を絕叫したいのです。今日は成績本位で、從つて女子師範に入る者は車引の娘、小使の子、八百屋さては大工と、下層社會からも隨分入つて來ます。これ等は一方では志望によつて下層の人々も教育者たるを得るといふ立派な事ですが、實際になりますと、卑しい家庭が背景をなして、小學教師といふ職が、卑しくなつて來る事が多いのです。殊に各種の家庭の兒童を預つて、最初の教育をする小學校では、教師に充分の信賴と尊敬を持たせる事が必要ですが、車屋が親であつたり、小使ひが其の家であつたりする場合に、父兄は其の教師を如何にして尊敬せしむるかゞ問題であります。それ故小學教師の大部分を作る師範入學者が、今後は上中流の社會から盛んに進出するやうに希ふのであります。そして小學教師の價値の自ら高尚に赴くやうに希望いたします。

○

安中花子

黒奴のをとめ心の晴れやかさ我に添ひ來ぬ水瓜はみをれば

そぼぬれて夕野の道に咲く花の白きより湧く淡きかなしみ

すべて世を悄む心のつめたさは遠き昔の一人に得し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十）

フランス語

琴子

次の朝、デビッドは、ハアレーに言ひつけられた薪を、殘らず箱へ入れてしまひました。やつと、晝前にすませて、臺所で休んで居ますと、下男のペレーが、あわてゝは入つて來ました。

「お神さん！。一寸來てくれませんか。女の人と子供が來て、何か言ふんですけんど、わしにや、さつぱり通じんですよ。お神さんにや、解るだらうよ。」「私にも解るまいよ。」お神さんは急いで、表の方へ行きました。

其處には、奇麗な女の人が、十歳ばかりの男の子を連れて、困つたやうな顔をして立つて居ました。お神さんの來たのを見ると、何かしきりに言ひます、けれども、何の事やら一向解りません。其内に樣子を聞きつけて、ハアレーも出て來ました。

「お前さん。何を言てるんだらう？」一寸聞いておくれよ。

女の人は、又何か言ひますが、ハアレーにも解りません。

「わしにや、解らん。フランス語のやうだよ。何の用があるんだらうかなあ！」

「お前さん。お腹がすいたのかい？」とお神さんはきいてみました。「お前さん、英語は解らんのですかい？」とハアレーがきゝました。女の人は、なさけないやうな樣子で二人を見較べて居ました。二人も困つて、女の顔を見て居ました。

すると、急に女の人の顔が、嬉しさうになつて、しきりとしやべり出しました。見ると、デビッドが出て來て話して居るのでした。

ハアレー達は、ビックリしてデビッドを見つめて居ました。「お前！解るんかい。」「エエ、おぢさん解らないの？道に迷つたんだよ」。「それで、何て言つてるんだい？」「親類の家へ行くんだつて。この村に居るフランス人の家だつて。フランスから來たばつかりなんだよ。」「さう云んかい。」ハアレーはデビッドの顔を、穴のあくほど見て居ました。

下男のペレーは、其家を知つて居ましたので、連れて行つてやらうと言ひ出しました。そして女の人達は、嬉しさうに禮を言ひながら出て行きました。

あとでハアレーは、デビッドに、「ぢや、お前フランス人かい？」「ウゝン。僕、アメリカ人だよ。」「どうしてお前、言葉が解るんかい？」「そりや、ならつたんだもの。父さんは、ドイツ語も敎へてくれたの。おぢさん幼い時、おそはらなかつたの？」

ハアレーは不思議さうに默つて居ました。

晝過ぎにデビッドは又ヴァイオリンを持つて、裏の山の方へ散歩に出かけました。お神さんに一所に行かうとすゝめましたけれども、だめでした。ハアレーにもすゝめて見ました。

「何だ、つまらん。たゞ歩るく暇などないよ。」「おぢさん つまらん事ないよ。父さんはよく散歩するといゝ氣持ちになるつて言つてたよ。僕、今日あんまりいゝ氣持ちでないの。おぢ樣もいゝ氣持ちでないだらう？顔で解らあ。おぢさん散歩に行きなさいよ。」「何だい。餘計な世話だい！」ハアレーは、プンプン怒つて行つてしまひました。

デビッドは又悲しくなりました、自分の言つた事を考へながら、一人で出かけて行きました。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

默爭（二）

高田てい子

夕暮れどき——
空には星が爭そうやうにふえてゐた。樹々の葉はみどりの息をふきもどしてきた。打水をゆたかに吸ひ入れた土からは冷え〳〵した微風がたつて、けだるく伸びた晝の神經に、しめ繩をかけ歩くやうな快い夜が近づいてゐた。

澪子は女中と二人丈けの輕い夕飯を終へてから庭に出た。かなりな廣さの長方形の庭には夏草がにぎやかに茂りあつてゐるさま〴〵な色と形の草花はいきほひよく上にのんで、庭隅の藤棚の小さい竹籠では鈴蟲が可憐にないてゐた。

澪子はみすぼらしいパンゼの鉢植を膝にとりあげた。花はもう盛りからとほくなつてゐた。暗い紫の花びらは小さくいぢけて、葉にも莖にも哀れな衰へがあらはれてゐる。それは彼女が種を播して、かよわい芽から花にまで仕あげたものであつた。

無器用な澪子としては珍らしい仕事の成就であつた丈け、庭にあるすべての花のうちで一番ふかく彼女の愛をしめてゐた。

もう鉢をはなして捨てやうかそれとも土の床で窶れ死ぬまで見守つてやらうかなどと澪子は幼い呑氣な迷ひを花のうへにおきながら、きたない鉢をいじくり廻してゐた。そして昌が音のしない裏口をぬけて、いきなり白い姿を彼女の近くに見せたときはすつかり驚かされた。

「貴方はいつでもどろぼうのやうね」

立ちあがりながら澪子は氣がるく咎めた。

「盗人でなくて巡査ですよ、裏の戸じまりを見まはつてあげたんですからね」

昌は門のくゞり戸が妙に喋いでから〳〵鳴るのをいやがつてはよく裏をまはつた。そんなに彼は泉の家に親しんでゐた。

「じや御親切だつたのね、」と小さい靨を見せたがすぐまじめな語調にあらためて、

「あのね昌さん、泉は昨日から留守になりましたの、郷里へ歸つたんですよ、多分貴方のほうへも近いうちに便りがありませう」

「さうですか、で何日頃まで御滯在？」

「要事の都合ではお休みいつぱいですつて、折角ゐらしつたのに……」と云つて何かを惑ふやうにしばらく凝つと沈んでゐた、昌は澪子の迷ひがなにゝあるかを彼女の沈んだ眼の中にすばやく讀んだ。それで

十六

「僕はかへりませうか」と門の方に歩きだした。

「えゝその方がいゝでせう」

澪子は冷くはつきり云つた。そして、

「中井さんのお宅へでもお寄りして御らんになるといゝわ昌さん、れい子さんの歌でも聞かせていたゞきなさいな、私のとこで御話しんなるよりきつと面白い事がありますよ」と慰めるやうにつけ加へた。中井さんは彼等に共通の知己でそして澪子の處からそんなに遠くはないのであつた。昌はもつと何か云はうとしたが默つて門の外に出てしまつた。

「私の厚意ですよ昌さん」と澪子は彼の後に小さい聲を送つた。

「ありがたう、僕はよく了解してるつもりです」

昌も低く應じた。五六歩出てから昌はふと足をとめた。彼は自分の與へた鈴蟲の鳴く音をなつかしくきゝ入つた、そして

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ門を離れなかつた澪子に話しかけた。

「今度は元氣で生きてますね愛してやつて下さい、すぐ死なないやうに」

うす暗がりの中で澪子はうなづいた。彼女はふたゝび草花のまはりに戻つてきた。昌がきて去つた僅かの間をひどく長いものに彼女には思はれた。そして先刻まで四邊の靜かさに融和してゐた心が遙な空にかくれたのを知つた。

「靜かないゝ夜だ、星がさめつゝある。花が開いてゐる。蟲が唱つてゐる。微風がすぎてゆく」

澪子は咽るやうな煙つぽい心を元にかへしたいために、めぐりにある數多くの實在をかぞへはじめた。そして其等のものゝうへに努めてさわやかな讃め言葉をおくらうとした。彼女は昌の心を見ないふりして過ぎたかつた。それから自らの心も。けれども煙りはなほ／＼こく靡いてきた。逃げる後につめよつてきた。そして胡麻化してはいけないと呼びとめた。

「そうだ、怖れと歡びと淋しさと……けれどもそれがどうしたといふのだ」

なほも澪子は抗ひながら蔭棚の下にきた。彼女は蟲籠をのぞいた。蟲は輪切りにして胡瓜のそばで疲れた羽をしづめやうとしてゐた。それは昌から贈られた二度目のものであつた。はじめのは十日ほどで死んでしまつた。そして枯れ葉のやうな死骸のまゝで横になつてゐたのを丁度訪ねて來た昌は自分で片づけた。「何んにもおやりにならなかつたんでせう、きつと貴方が餓ゑ死さしたんだ」と昌は微笑ながらせめた。澪子は毎日忘れないで胡瓜をやつたと辯解した。

「私はするだけの事をしてあげたのに蟲の方で勝手に死んだんですよ」と冷淡に言ひきつた。

「慘酷だな」ひとり言のやうに彼はつぶやいた。

「貴女は人に對してもきつとそういふ態度をおとりになるんですね」

それはやつと澪子の耳にとゞく位の低い聲であつた。

「私まだ人殺しした覺えはありませんよ。」

「殺しなさらなくとも傷ける位は平氣なんでせう」

昌はそう云つたときにもう笑つてゐた。なんでもなさそうに澪子も笑つた。けれども怖ろしい暗示をうけたやうな戰慄がながく彼女をさらなかつた。

いま澪子はそれを思ひかへした。暗い吐息が胸いつぱいになつた。

新刊紹介

口手輕でうまい經濟料理（下卷）

實用家庭叢書第三篇として編まれたもので、既に四版を重ねて居ります。本書の特色は、安價な材料を手輕く料理して、美味しく食べられるやうに苦心し、すべて中流の家庭向に出來てゐます。下卷は主に夏向の料理を集めたもので、茄子や南瓜、里芋、胡瓜等の野菜料理から、鰯、鯖、鰺等の日常多く使ふ材料でさま／＼變つた調理がしてあります。各家庭に一本を供へれば至極便利でせう。（定價五十錢牛込赤城元町三四東京家政研究會）

森脇紫逕著

四六版裝釘瀟洒
定價五拾錢
送料六錢

俳句よりいでたる小學教話

自然味と人間味の興味を
俳句に求め之れを學校と
家庭の話の種に提供す

其形式の單純にして而も清新なる自然味と人間味的興趣の横溢せるもの之れを我國古今の文藝的作品中に求めて俳句の右に出づるものなし本書には古今の俳句を集め其句意を敷演して或お伽話的に或ひは道話的に解釋を與へ以て初等教育又は家庭に於ける話の種を提供せり其職にある者の一讀して必ず利する所あるべきを疑はず。

東京神田錦町三
大阪三休橋南詰
大鐙閣書店發兌
振替 東京三三六一八
大阪二二七一五五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□聖上陛下の御精勵　九十度を上下して居る昨今の炎熱にも　天皇陛下には玉體彌が上に御健勝に渡らせられ、日々午前十時中には必らず表御座所に出御遊ばされて御政務を聞はせられて居られます。本年は本月中旬頃　皇后陛下御同列にて日光田母澤御用邸に御轉地遊ばさるべき御豫定でございましたが、外交上其他重要なる御政務の御都合により八月一日迄御延期相成りしさ承ります。

◉英國皇室改稱　外電の報ずる處によれば英國皇室はサックスコバーグ、ゴータ家の稱號を廢してウインゾル家と改稱したさうです。從來の稱は現英國王ヂョーヂ五世陛下の祖母君に當るヴイクトリア女皇の時より出で、即ち女皇は獨逸ハノーヴアー國のグルフ王家の出であり、其の夫君アルバード王は獨逸のサックス、コバーグ、ゴータ國の王でありました爲め、爾來英國皇室は獨逸名前を其のまゝ呼ぶに至りました。然し今回は獨逸名前を廢すると云ふ趣旨のもとに改稱を行つたものであります。ウインゾルと云ふのは皇室の御家族が平常住んで居られる宮殿の名であつて、倫敦から汽車で三四十分の處にあります。往古より英國君主の居城で、テームス河を瞰下して聳立せる古い高塔のある城であります。

◉露國の新首相　首相リウオフ公は辭職して、陸海軍大臣なるケレンスキー氏は現職のまゝ襲任致しました。新首相は今年卅六歲の熱血的な政治家で、社會黨中に重きをなして居りました。氏は非常に大膽で且つ決斷力に富み、露國の都鄙を通じて最も人氣のある人で、曾て廢帝を押籠めたのも氏の主張に依る處であると傳へられます。

◉駐日米國大使決定　日米國交の爲め貢献する處多かりしガスリー氏逝いて今日迄其の後任が選定されませんでしたが、駐日米大使は、今度愈々ローランド、モリス氏に決定致しました。氏は本年四十四歲政界の勇士として夙に知られたる人であります。氏の家はペンシルヴアニア州の舊家であつて、政治以外各種の實業にも關係し、巨額の富を持つて居らるゝ由です。

◉ヴエルダン市御寄贈の太刀　昨年秋冬に亘つて幾度か行はれた歐洲西部の戰鬪に於て、死力を盡して城塞を固守し、難攻不落の名聲を博した北佛蘭西ヴエルダン市の勇敢なる行爲を表彰する爲め、我が皇室よりは黄金作りの『衛府の太刀』を御寄贈あらせらるべき趣は既に報道致しました通りですが、今回愈々出來しましたので近く外務省を經てヴエルダン市に送附あらせらるゝ事と存じます。刀身は帝室技藝員月山彌五郎翁、裝飾は東京芝區日陰町刀劍師小松崎茂助氏が承つて謹製致した見事なるものゝ由です。

◉羅馬尼に行く本邦醫師　内務省では羅馬尼政府の懇望によつて、月手當五百圓から七百圓の條件で約百名の本邦醫師を、一班十名宛に分けて派遣するこさに決定し、其の總班長として濟生會外科部長茂木藏之助博士が選定されました。博士は先年遣佛赤十字救護班醫員として見事な力量を示された方です。一行は來月末出發八ヶ月間彼の地に止まるのださうです。

◉下級官吏に臨時手當　米、味噌醤油等日常生活に須要なる諸物價が殆ご際限なく騰貴して居ります爲め、下級官吏其の他の從業者は日に〳〵生活難に陷り、困窮者が多くなつて參りましたので、宮内省にては先づ四十五圓以下の官吏より小者に至るまで五六百名のものに對し、給料額に應じて十二圓以下五圓迄を給與致しました。續いて鐵道院にては日給一圓以下の七萬の從業員に對し三四錢乃至六七錢を增給し、遞信省も亦同じ試みに出んさして居ります。東京市では先きに書記及び技手以上の吏員に對して平均一圓の增俸を行ひましたが、尚は以下一萬四千の各員に對しても何等かの方法によつて慰安救濟を行はんさして居ります。

◉各寄宿舍の食費値上げ　物價騰貴は學生界に迄影響を及ぼし、各學校の寄宿舍は申合せたやうに食料の値上げの決行しやうさして居ります。其の主なるものを掲げると、一日廿三錢であつた一高は廿五錢に、慶應は食費さ舍費で一圓の値上げを行ひますから一ヶ月十二圓さなり、早大はこの六月から既に廿錢の食費が廿三錢に上つて居ります。高師及び女高師も二十三錢に、女子大學は一ヶ月七圓の食費が七圓五十錢になるさうです。

◉女子教育の大恩人逝く　奈良縣の富豪にて林業家として其の名を知られたる土倉庄三郎翁は、十九日急性肝臓炎の爲め逝去されました。氏は早くから女子教育の必要を認められ、斯界の各方面に熱心に盡されました。東京でもまだ女子教育不要論が盛に唱へられて居た明治十二年頃今の女子大學校長成瀬仁藏氏が大阪に梅花女學校を起さるゝや、自ら率先して五人の令孃を託されたさ申します。其の後今から十數年前、成瀬氏が日本女子大學を創立するに及んで、大阪の廣岡淺子女史さ共に第一に贊成し、大に同校の爲めに計らるゝ事が多うございました。

◉來朝せる女建築師　今回我國に建設さるべき東洋第一の國際病院は、東京隅田川沿岸の元メトロポールホテル敷地より、今の聖路加病院全部を通ずる總計六千坪の敷地に百萬圓の資を投じて四階造りに建築される事になりました。これが設計の爲めに來朝した建築技師はエム、イーマッキアモント孃(三六)さ呼ぶ米人建築家で、現に紐育市の國民病院事務局の主監をして居られます。女史は紐育の或る病院に一看護婦として働いて居られた中、病院の建築設備に就て不滿を感じ、遂に其の方面に向つて研究を重ね、傍ら看護婦養成をするやうになつたのであるさ申します。女史は千九百〇九年比律賓に於ける設計を初めとして今日迄二十二の病院建築の設計を致して居ります。我が國には多分九月頃迄滯在して設計を終り直ちに歸米さるゝ筈であります。

◉女教員大會に列席の代表者　既報の通り本年秋季に帝國教育會の主催で日本全國の代表女教員を東京に集め、女子教育兒童教育等の實際問題を研究する爲め各府縣より二名乃至三名の優秀女教員の參列者を銓衡する事になりました。右につき東京市にては其れが代表者としての左の三名を銓衡して發表致しました。

本所高等小學校訓導　高橋とく子
芝區愛宕小學校訓導　稲井しづ子
神田區小川小學校訓導　南ふち枝子

◉女工の學習　芝田町の專賣局では煙草工場へ通ふ少年少女達の爲めに、此の夏から新たに學校を開き、工場の中で小學教育だけは立派に教へられるやうになりました。學校用具は凡て貸與され一日十七錢から廿錢迄給金を與へられて居ります。

女學校だより

▲女子師範卒業式　小石川區竹早町なる同校にては、十九日午前九時より第二部卒業生二十七名、聽講生朝鮮人一名に對して卒業證書授與式を擧行致しました。前記の中聽講生として修業證を受けた鮮人李貞子(二二)は、京城の中人の家に生れ、同地の

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

淑明高等女子普通學校を卒へて上京し、女子大學附屬高等女學校に入り、昨年同校を卒へて女師の第二部に入つたものであります。成績も極めてよく品性も優秀であると申します。歸鮮後は母校に於て朝鮮婦人を開發さす爲めに熱心に教鞭をさるこの事です。

◉家事實習研究會講習 同會主河口愛子女史は、小石川小日向臺町なる同會に於て、七月廿七日より衣服整理及び、食物調理に關する講習會を開き、理論と實際の兩方面から懇切に會員に教授する由です。

個人消息

△丹下梅子 此夏を川越の某教會に送らるゝ爲め廿二日其の地に赴かれました。

△矢島楫子 都合により北海道行きを九月に延ばされ、八月中は在京の由。

編輯室より

▲この號の編輯を終つた處に、服部他助先生から、「赤城山頂より」の、原稿を送られた旨のお手紙を頂戴しました▲そのお手紙は白樺の木皮に認めてありました、同人一同は手に手にこの木皮を撫でつゝ、高山の涼風を浴みたやうな喜びを致しました。▲同先生の記事は次號にお待ち下さい。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調查、財產調查、男女學生品行調查、裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)
人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は必ず前金の事▲郵券代用は一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

大妻技藝學校
第三回個人教授夏季講習會

一、會場 東京麴町區上六番町七番地

一、科目及び講師 (科目イロハ順)

生花盛花投入茶の湯
縫細工科
綿細工科
摘細工科
袋物科
編物科
作法科

久野連峯、大妻一惠、本間喜美子、矢吹錦德、吉岡房次郎、青柳優子、横山芳山、滋野喜代子、高橋柳子、清水頴子、甫守謹吾

裁縫科
儀式用折紙並に水引結方科
刺繡科
絞花科
壜細工科
染絞科

大妻一惠、奥平加賀惠、山内千代、大妻一惠、水野佐代子、青柳禮子、矢吹錦德、大妻一惠、平野すて、富田輝夫、椿登喜子

開催期日 七月廿日ヨリ八月卅日迄期間中ハ何時デモ入會ガ出來マス。但各科ノ講習細目ハ入會ノ日ヨリ凡ソ二週間以內ニ出來マス

時間 各科共午前八時ヨリ午後四時迄個人教授ノ方法デ教授シマスカラ何科目デモ隨意ニ兼修スルヿガ出來マス

講習料 普通科金壹圓五拾錢高等科金貳圓束修不要

器具及材料 御持合セノ品ハ御持參御隨意デス御持合セ無イ方ハ當校內ニ全部取揃ヘテアリマスカラ實費デ御讓リ致シマス

入會申込手續 御志望ノ方ハ入會申込書ニ希望ソ科目ヲ記入シテ會費ト共ニ入會ノ日迄ニ差出シヲ乞フ

講習證書 規定ノ科目ヲ修了シタ方ニハ講習證書ヲ差上ゲマス

寄宿 遠方ノ方デ當地ニ御親類ノ無イ方ハ御志望ニヨリ本校內ニ寄宿ヲ許シマス寄宿料ハ一日分食費、舍費、寢具、電燈、風呂等一切デ參拾五錢一ヶ月以上寄宿ノ方ハ當校ノ別ニ定メタ規定ニヨリマス

本校在地及ビ注意 遠方ノ方ハ當市內ノ何レノ驛ニ御着キニナリマシテモ御荷物ノ配達ヲ驛ニ托セラレ電車デ靖國神社橫(富士見町)迄ノ切符ヲ買ヒ求メラレ下車シテ左ニ牛丁坂ノ途中デアリマス

參觀 參觀御希望ノ方ニハ實習並ニ製作標本ヲ御覽ニ入レマス

校則並ニ講習細目 御入用ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ

電話番町一一二〇番
振替口座東京三一六〇九番
大妻技藝學校

夏期講習會

八月一日ヨリ四週間
使用機械有限、急至申込あれ
(規則進呈)

ミシン刺繡科
ミシン裁縫科

東京有樂町一ノ五
シンガー裁縫院

十九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、蜂岡兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町　六二番　**東洋內科醫院**
院長　醫學博士　**高田畊安**
電話ちがさき二番　**南湖院**
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黑天印

赤　白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニモヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
東京市日本橋區通旅籠町
宮內省御用達　發賣元　**甲斐產商店**
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者に
して初步より學ばれんとする者にも懇切に
教授す　（ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語專門私立　**櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

耳鼻咽喉科專門
大野醫院
（入院隨時）
院長　耳鼻咽喉科　**大野喜伊次**
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　**女醫吉岡彌生**
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七　**東京至誠病院**

產科、婦人科、小兒科
女醫　**井出茂代**
東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電　京　二二二三一番）

マッサージ夏期講習會
一、目的　家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、場所　牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日　自七月十六日至七月卅一日／自八月一日至八月十五日／自八月十六日至八月卅一日　日曜日を除き毎日午前二時間
一、人員　一回十人を以て定員とす
一、講習料　金拾圓也前納の事
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す
一、特典　講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は研究に出席する事を得
講習主催者及主任　女醫　**藤井孝子**
右御希望の方は至急牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御誌文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

上品で役に立つ理想的の婦人雑誌

八月號内容でも外觀でも他に類のない雑誌

本月も賣切れぬ内今スグ御求めあれ

婦人雑誌

既に出來　各書店にあり

□都のたより……田村彩天

【口繪寫眞】
◎海のほとり　◎水あそび　◎波と雲と
◎蟬しぐれ　◎金線銀線　◎水菓子のいたゞき方

□鮎の飛ぶ音……宇崎純一

【讀者文藝】
◎短文　◎長詩　◎和歌
◎おとづれ　◎萬年筆　◎俳句

◎女子の禍福の分岐點……文學博士　幸田露伴
◎家庭連鎖の五個條……文學博士　添田壽一
□なしの實……スミカズ
◎夫人各位に望む……文學博士　藤井健治郎
◎釋迦牟尼の母……鏡浦庵
◎家庭科學　空氣の不純になる原因……長井博士
◎暑中子供によくある吹出腫療法……女醫　松木勝子
◎澁滯した乳の出を斯くして胸部の働きを回復……橋口香苗子
◎書齋を主とした新築住宅……三浦元秀

◎婦人の社會的事業の餘地……文學士　長壽吉
□洋式婦人會話及作法……記者
□海の夕……スミカズ
◎婚禮の鐘（唱歌）……文學士　小林愛雄作　レコック曲
◎美しい聲の出し方……マダムネヴハダ
◎海外特信　學校生活……大谷久子
◎齒と衛生……齒科醫　五十嵐英次郎
◎化粧水と粉白粉になるまで……記者
◎圖案と女性……小林喜代子

婦人と避暑の問題

▼獨逸婦人は斯して避暑を利用する　長井博士
▼私の夏と不良老女振り……三角錫子
▼避暑をお勸めしたく無き理由　宮田修
▼夏季の學校ホテルと天幕生活　櫻井ちか子
▼洗濯の手許に玉と亂るゝ水の涼しさ……田中芳子

◎美容（成瀬雯子）◎誰にも出來る簡易板締染（羊子）◎井戸と朝顔の塀細工（大妻一恵子）◎家庭菓子の製法（手塚かね子）◎箏曲界の巨手萩岡松韻氏（記者）◎簡單に出來る美しい電燈笠（記者）
◎家庭童話　山姥……高木敏雄
◎社會げき　罪人の妻……小林愛雄作　三國久吉
◎長篇小說　彼女の一生……田村とし子
◎小說　弱者……佐藤きみ子

發兌　東京市神田區駿河臺鈴木町　婦人雑誌社　電話本局三一八五番　振替東京三三一六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料　御園白粉（みそのおしろい）

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包裝を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に類比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉　御園の月　御園の花　御園撫子　御園紙白粉　御園四季の花　御園の露　御園の雫　御園クレーム　御園香精　御園の梅　御園香油　御園齒磨　御園ルチゲン

本舗伊東胡蝶園・發賣元丸見屋商店

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA